

事業所名 放課後等デイサービス事業所 すなめりⅡ

公表日 2025年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・学習と活動の場を区別している	・利用時の年齢により、体格の変化や動きが大きくなってきた時の対応を考えて活動を工夫していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・利用予約状況や当日の利用状況も確認しながら適切に行っている。	・1日の定員10名に対して利用希望が超えた時はキャンセル待ちの対応も検討していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	6	・建物の構造上、バリアフリー化がされているとは言えないが、安全に配慮した環境整備の工夫には取り組んでいる。	・木のささくれや段差などは、修繕をして怪我のないように整備する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・換気に気を付けて、加湿器や空気清浄機を利用している。	・毎日の掃除・器具の消毒をより徹底していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・和室を個別での課題に活用したり、急な体調不良の利用者の静養室としても使っている。	・衡立を個別に用意して落ち着いて過ごせるように改善していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	・職員会議以外でも連絡・連携を図っている。	・今より職員の意見に耳を傾けお互いに切磋琢磨していける職場づくりに努めていく必要がある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・職員会議や会議録にて職員間で共有し改善につなげている。	・1日5分からでも話し合う場を作っていけるように努める
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・日々、声掛けの中や反省会を設けるなどして話す場が保障されている。	・何でも言い合える場にしていけるように努める
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	・外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・研修案内を掲示し、周知している。 ・研修後に報告の場がある。	・声を掛け合って職場の課題に促した研修会へ進んで参加していく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・公表されているが、内容の検討や職員間での共有が必要である。	・常に見直し、よりその時々に応じたプログラムを検討する
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・アセスメントは取っているが、客観的な分析を行う会議はまだ開けていない。	・会議開催にて全職員で共有していけるように検討する
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・業務日報にて、その日ごとに問題が起こった時には報告し、支援お方向性や今後の対策について投げかけを行っている。	・最善の利益を考えた検討までには至っていないため、ケース会議などを開催していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		・モニタリング前に職員間でも話し合い次の支援計画等の土台を検討する場を設けていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・インフォーマルなアセスメントは使用していない。	・個々にあったアセスメントの様式を考えていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	・実際には、家族支援や以降支援についても視野に入れながら計画を立てているが、今は、「本人支援」に重点を置いているため、今後、より具体的なねらいを支援内容に取り入れていく。	・「地域支援」についても事業所としてできることを模索していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・保育士が中心となって立案し、その他の職員と相談して進めている。	・職員間にて協力し合いながら活動を行っているが、改善点についてはお互いに意見を出し合って検討していく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・日々違ったことを行ったり、継続して行ったり工夫をしている。	・より一層、様々な活動が出来ているか今後も積み上げていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・職員同士、意見を出し合う場が設けられている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・今日の活動について、新しく取り入れる時には、どのように行うのか、どこで協力してほしいのか打ち合わせを行っている。	・よく行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・非常勤職員は、その場での打ち合わせや振り返りはできないが業務日報の供覧により、情報共有している。	・伝えてもらえる時にメモなどで書いてもらう
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・日々の記録により、振り返りと支援の在り方について改善をしている。	・話し合い検討会等を月に1度は開催できたらと思います
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		・半年毎におこなっている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	1	・地域交流の機会の提供にかかわる支援が不足しているように思う。	・まずは職員が地域に出かけるなどして、できることから少しずつ取り組んでいきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・こどもの自己選択を取り入れた活動を支援しながら行っている。 ・こどもの発表の場を設けている。	・意思確認もその都度行う
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		・声がかかった時には積極的に参加する
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		・整えている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	2	・学校へのお迎え時にお話しができる環境がある。	・連絡及び連携等が取れるように送迎時には都度確認を行う
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		・すなめりⅠとの間では十分に情報を共有している
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		・移行場面にはまだ該当者がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		・参加していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・まずは情報を集めていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	・積極的に参加できていない	・参加していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		・送迎時にフィードバックを行い共通理解へ繋げていく
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		・本の紹介や研修会の案内を行っていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		・契約時に行っている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		・常に意識して意向を確認している
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		・説明をして変更して欲しい点や追加して欲しい事も確認していく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		・電話や面談・連絡ノートでのやり取りにて十分に話を聞いている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	・直接の関りは難しい所があるが通信を通して、相互関係がつながる努力はしている。	・保護者が出会える場は少ないが、連絡を取り合いたいとの要望がある時には橋渡しをしていけたらと思う
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・苦情への対応は、即行っている。	・第一に謝罪。事実確認後、改善策をすぐに報告する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		・月に1度「すなめり2通信」を出したり玄関先に保護者向けの掲示物（研修案内・イベント案内）を掲示している

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		・十分に留意している
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		・書面にして分かりやすく伝える ・直接お話するようにしている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	・現時点では行えていない。	・現時点では行えない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・年間の訓練計画を立てて取り組んでいる。	・事務機の壁側に掲示しているが職員への周知を行いたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・定期的に行っている	・必要な訓練・訓練時の職員の役割についても周知している
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・入所契約時の書類に記入してもらい、保護者へ確認をしている。	・該当者にはより詳しく聞き取りをしたたり書類を記入していただいております
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・医師の指示書などはいただいている。	・食事の提供はしていない ・おやつは各ご家庭で用意していただいている ・クッキングの時には事前に材料をお知らせ
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		・安全計画を作成して研修や訓練を行っている
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		・「すなめり2通信」などでコーナーを設けて知らせていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		・検討している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・職員会議時に合わせて、研修を行っている。	・会議の中で毎回少しでも触れるようにしている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・入所契約時に、保護者へ説明し、同意を得ている。	・個別に支援計画にも書き加えていくことで保護者へも理解を得られるようにしていく